

学校保健学習会だより

R6. 10. 25

特別号

下仁田中学校 保健室

ピアサポートを取り入れた心の育成『第2弾 もめごとの解決スキル』

今回も日本ピアサポート学会常任理事の吉田益美先生をお招きして、前回の『傾聴で友達の話を知ろう』の体験や学習を活かして、「もめごと（対立）の解決スキル」について学びました。

下仁田小学校の5・6年生と中学生と一緒に話を聞いて、もめごとが起きた時、どのように解決していけばよいのかを学びました。



生徒に広めたい『ピアサポート』

ピアサポートとは、困っている仲間を支え合う活動のことです。

* 仲間とは、同学年だけでなく、上級生（小学生にとっての中学生）もピアです。

活動その1 『対立は悪いことなのか？』 隣の人と話し合ってみましょう。



対立は悪いことなのか、自分の意見をペアの人に伝えています。傾聴の姿勢で、伝えている生徒の姿がとってもいいです。



講師の先生が、各学年の代表の人に、どんな話し合いの結果になったのか、インタビューしています。マイクを向けられても、しっかり答えられる下中生です。

*資料は当日のスライドを抜粋しました。

<スライド①>

まとめ① 『対立は悪いこと』という観念は、正しいか？

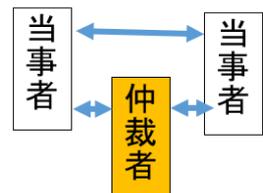
対立すると・・・ **なぜ**
雰囲気が悪くなる → 合意を得る努力をしないから
和を乱す → 合意を得ないまま放置するから
「いじめ」が起こる → 相手のことを考えずに、自己主張だけするから
合意 = (たがいの気持ちが一致すること)



対立自体は自然なことで、悪いことではない。
対立した後に、「解決するためのスキル」がないことが問題！

* 解決するための
スキルとは・・・

メデイエーション
(調停・仲裁)



仲裁者としてのピアサポート

<スライド②>

メデイエーションのやり方：（ALS アルスの法則）

カナダの3段階モデル(2002)をもとに作成 参考:Brown.D (2003)

Agree (合意)

解決のために、話し合いをすることに合意するか。

<話し合いの3つのルールへの提示>

- ① 相手の話は、**しっかり聴く**こと。
- ② 相手が話しているときには、**さえぎらない**で**最後まで**聴くこと。
- ③ **正直**に自分の気持ちを話すこと(本当のことを言うこと)。

Listen (聴く)

お互いの意見を聴き合う。

- ① 上のルールを守って、自分の言いたいこと(言い分)を話し、相手の言い分を聴く。
- ② 「**事実**」「**感情**」「**願い**」を出し合って、食い違いをはっきりさせていく。

Solve (解く)

解決法を検討して1つを選択する。

- ① 解決していくの**いい方法はないか**、考えたことを話す。
- ② どうしていけば**いいか**、浮かんできたことを提案する。

活動その2

「一つのオレンジ」の話 あなたは、仲裁者です。

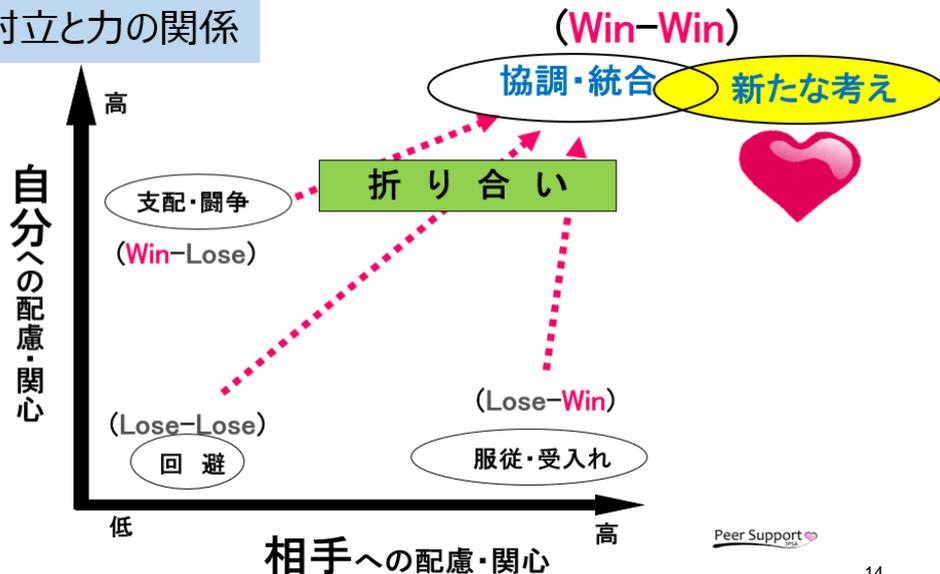
どのように対応しますか？ 1つのオレンジをどのようにしたいと思いますか？ 隣の人と話し合ってみましょう。



二人の言い争いをしっかり聞いて、解決していくためにいい方法はないかペアで考えています。話し合いの結果は、「半分にする。」「ジュースにして分ける。」「年功序列」「二人の話を聞いて実と皮でわける」など二人が納得いくような、win-winな関係になるようなアイデアを考えていました。

<スライド③>

まとめ③ 対立と力の関係



<スライド③>

まとめ④ 仲裁者・当事者のポイント



仲裁者は、
 ・解決するのはあくまでも当事者であり、当事者同士で話し合っ解決できるようにする。
 ・中立な立場で、当事者の話を傾聴する。

前回の様に、『解決のスキル』も最初から上手にできる人はいません。だから下の図のように、練習して、計画を立てて、活動して、振り返って、また練習して…と繰り返し行うことが大切です。上手にサイクルを回すことで、みなさんの力になっていきます。

講演会の最後には、自分の計画を立てました。自分が仲裁者としてどんなもめごとの時に使えそうか考え、それをもとに、まずは2週間取り組みを始めています。



どんな計画を立てたのでしょうか？ 何人か紹介します。

①仲裁者としてどんなもめごとの時に使えそうですか？	誰かがケンカをしているのを見かけたとき
②その時、仲裁者として心がけたいことは？	二人の考えをしっかり理解する
③もし、対立の当事者になったとき、こころがけたいことは？	感情的になりすぎず、しっかり相手の意見も聞く

①仲裁者としてどんなもめごとの時に使えそうですか？	物の取り合い 人の取り合い
②その時、仲裁者として心がけたいことは？	人の話をよく聞く
③もし、対立の当事者になったとき、こころがけたいことは？	相手の話をよく聞く うそをつかない 相手にきちんと伝える

①仲裁者としてどんなもめごとの時に使えそうですか？	ルールを守ってくれなかったとき 相手が興奮状態のとき
②その時、仲裁者として心がけたいことは？	お互いの意見を言わせて、聞かせる
③もし、対立の当事者になったとき、こころがけたいことは？	落ち着いて、解決につながるような意見をしっかりと伝える

①仲裁者としてどんなもめごとの時に使えそうですか？	誤解していること
②その時、仲裁者として心がけたいことは？	どっちかの味方みたいになるんじゃなくて平等になる
③もし、対立の当事者になったとき、こころがけたいことは？	本当の胸の内を話す

①仲裁者としてどんなもめごとの時に使えそうですか？	意見の食い違いが起きたとき
②その時、仲裁者として心がけたいことは？	どっちか一人に偏らず、平等の立場にいること
③もし、対立の当事者になったとき、こころがけたいことは？	しっかり相手の話を聞く



講演会を終えての感想の紹介

1年生

- ・対立は悪いことじゃないけど、対立のせいで仲が悪くなるのは嫌だから、メディエーションで解決することが大切だとわかった。
- ・仲裁者の技術は、社会にでも必要不可欠なので身につけたい。
- ・対立が起きたときに、当事者だったら相手の意見をちゃんと理解してあげたい。当事者でなかったら積極的に仲裁者の正しい役割をこなして対立する前よりも良い関係を築けるようにしたい。
- ・自分は、当事者側に回ることが多いと思うので、キレすぎて話を聞かないということがなく、冷静を保てるようになろうと思った。

2年生

- ・前回の講話でもすごく勉強になったけど、今回の講話でより詳しくピアサポートについて知れた。しっかり活用したいと思った。
- ・自分も仲裁をしたことがあったけどあまりうまくいかなかったけど、今回のピアサポートでどうすればうまく話し合えるかが分かった。
- ・今日の講話で、自分は兄弟がいるので、何かもめごとなどが起きたとき、自分が仲裁者になれたらいいなと思います。自分が少し成長できたかなと思いました。
- ・対立することは悪いことではないと分かった。また、対立は人ではなくて考え方の対立だと分かることができた。今日のピアサポート体験を生かして、よりよい学校にしていきたいと思った。

3年生

- ・自分が仲裁者になれるときはなって、相手の意見をしっかり聞こうと思いました。
- ・3つのルールを守って話し合いをしたい。平等に接することができる仲裁者になりたい。
- ・けんかしたときでも話を聞き合い、最大限いい方向へ向かっていきたい。
- ・もし対立したら、相手の話を聞き、自分の気持ちを正直に言えるようにしたいです。仲裁者としても話をよく聞きます。
- ・最近の授業ではグループで活動し、話し合ったりすることが多いので、対立が起きたときの対応の仕方を知れて、すごく役にたった。

今回、司会やお礼の言葉は、後期保健委員の2年生が行いました。3年生から引継ぎ、初めての2年生が中心となる仕事でした。



当日使用したスライドは、クラスルーム『R6 保健の情報』に載っています。ご覧ください。